

もりがく県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

木更津港へクルーズ船寄港を!

東京湾の漁業振興へ支援

昨年4月の統一地方選挙(県議選)で、初当選を果たした木更津市選出の森岳(もりがく)県議は、12月定例県議会の一般質問に初登壇し、地元木更津市の地域振興を目標し、市民の声を県議会に代弁しました。

森県議は、外国人旅行者を対象とした外航クルーズ船の木更津港への寄港の可能性

について質問し、早期実現を図るためにオール県庁体制で、必要な条件整備に取り組みよう求めました。また「江戸前」の味として古くから親しまれている地元のノリやアサリの資源対策のほか、イチゴ栽培や和牛の振興策など農業問題なども幅広く取り上げました。森県議の質疑を特集しました。

の利用調整が必要となりま

す。合わせて大型船航行の安全対策を検討し、さらに通関検査、検疫、出入国審査などの諸手続きが実施可能な体制を整えることも必要です。

これらを踏まえた上で、地元市及び関係機関が外航クルーズ船の誘致に関する計画を具体化し、必要な条件

を整えた場合には、県としても必要な港湾施設改良について検討してまいります。

要望 経済効果の高い外航クルーズ船の木更津港への寄港を早期に実現させるため、国の関係機関や木更津市とも連携しながら、オール県庁体制で寄港に必要な条件整備に取り組みよう要望します。

県議会一般質問に初登壇



県議会の壇上に初登壇した森岳県議

森議員 外国 人旅行者を対象とした外航クルーズ船の国内動向をみると、アジアをはじめとした世界のクルーズ人口は増加しており、我が国においても平成26年

には、過去最高となる年間1200回を超えるクルーズ船が100港以上に寄港しています。

木更津港は、背後に大型ショッピングモールやアウトレットなどの商業施設があり、多くの観光客を受け入れるのに、非常に適した立地環境を備えています。私

は、こうした高いポテンシャルを持つ木更津港は、外航クルーズ船が寄港するのに最適な港であると考えています。木更津港を利用した外航クルーズ船の寄港の可能性はどうか。

県土整備部長 木更津港に外航クルーズ船が寄港するためには、岸壁の延長

と水深は現状の施設で対応可能ですが、係留施設については大型船に対応した改良が必要となります。

また現在、中古車や原木等の貨物が多く取り扱われていることから、

収益性の向上を図るとともに、本県のノリの特徴を生かしながら、さらなる品質向上を図るための技術的な支援が必要と考えています。

このため県では、海上操業の効率化を図る「高速浸漬処理船」の整備や、生産コスト削減のため、養殖業者が共同で利用する最新式の「大型ノリ乾燥機」の整備に対し支援しているところです。

また、近年の高水温下でもちじれない品種や、色や風味に優れた品種開発、青ノリの香りが好評な「青混ぜノリ」の生産技術の改良に取り組んでいます。

と水深は現状の施設で対応可能ですが、係留施設については大型船に対応した改良が必要となります。

また現在、中古車や原木等の貨物が多く取り扱われていることから、

の特色が色濃く出た「江戸前」の水産物として高く評価されています。まず、ノリ養殖業の振興のため、県はどのような支援をしているのか。

農林水産部長 本県のノリ養殖業の振興には、生産コストの削減や効率化による

また、人工芝等を利用する天然稚貝確保の手法の研究や、袋網等を利用した稚貝保護技術の開発も進めているところです。

具体的には、覆砂、漁場耕うん等の漁業者が行う漁場改善対策への支援とともに、カイヤドリウミグモ対策として、漁業者に対し親グモの発生状況等の情報や、駆除活動に対する支援を行っています。

リウミグモの寄生等が考えられますが、抜本的な対策が取りにくい中、県では新たな技術の導入も含め、さまざまな対策を講じています。

具体的には、覆砂、漁場耕うん等の漁業者が行う漁場改善対策への支援とともに、カイヤドリウミグモ対策として、漁業者に対し親グモの発生状況等の情報や、駆除活動に対する支援を行っています。

また、人工芝等を利用する天然稚貝確保の手法の研究や、袋網等を利用した稚貝保護技術の開発も進めているところです。

アサリの資源対策

森議員 アサリ資源の増大対策に、県はどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 アサリ資源が減少する主な原因としては、青潮やカイヤド

要望 今まで以上に漁業者や関係団体の生の声をすくい上げ、将来に夢が持てるよう支援していただきたい。

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

森岳 県議事務所
 〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103
 TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051
 URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp/

農地集積で競争力高い農業を!

市民から託された思い受け止め

12月県議会一般質問から



自席から再質問に立つ森県議

森議員 このたびのTPP交渉の大筋合意など、今後厳しさを増すと考えられる農業情勢を踏まえると、農業者等に農地中間管理機構の制度活用を促し、農地集積により、競争力の高い農業を実現するための基礎固めをしていく必要があるのではないだろうか。

本県における農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積の取り組み状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

森田知事 県は本年度から、機構支部職員を農業事務所等に5名配置し、担い手への農地集積に積極的な土地改良区などを中心に働きかけたところ、今年度中に

500ヘクタール程度の機構への集積を見込んでいます。競争力の高い農業を実現するためには、農地集積により農業経営を効率化する必要があることから、これまでの取り組みに加え、圃場条件が整っているものの、担い手が不足している地域などを対象に、まずは農地の流動化に向けた話し合いを進めることが重要だと考えています。

このため県では、今後市町村等と体となり、話し合いの取りまとめ役となる地域リーダーの発掘や育成に取り組む、機構の農地集積がより一層進展するよう、積極的に支援してまいります。

森議員 イチゴの新品種開発は、本県農業の活性化に大きく貢献できるものと期待しているところですが、農林総合研究センターが開

イチゴの新品種開発

発したイチゴの新品種とはどのようなものか。

森田知事 本県産イチゴの半数以上が販売される観光イチゴ園や直売所では、

要望 機構の農地集積の推進について、本県農業の競争力強化の基礎固めとなることから、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

和牛生産の振興策

森議員 本年10月5日にTPP交渉が大筋合意となり、国の見解では、とりわけ牛肉、豚肉及び乳製品の畜産3品目への将来的な影響が懸念されています。これまで頑張ってきた首都圏に牛肉を供給してきた本県の農家の努力を無駄にせず、消費者に選ばれれる和牛産地として発展していけるよう、県も積極的に支援していくべきと考えます。

そこで伺います。TPPが大筋合意され、和牛生産がより重要性を増す中で、本県の和牛生産の現状はどうか。

農林水産部長 本県の牛肉生産は、乳牛から生まれる乳用牛と、和牛と乳牛との交配でできる交雑種で7割以上を占めるため、純粋な和牛が少なく、平成27年2月現在の飼育頭数は

近年、3月以降に海外や県内外から、採れたてのおいしいイチゴを求めるお客様が増えており、これに対応した品種が求められています。そのような中、農林総合研究センターが今回開発した新品種は、主力商品の「とちおとめ」よりも大きく、甘みと程よい酸味があるおいしいイチゴです。お客様の

そのような中、農林総合研究センターが今回開発した新品種は、主力商品の「とちおとめ」よりも大きく、甘みと程よい酸味があるおいしいイチゴです。お客様の

8860頭で全国第32位となっています。

品質面では、最高級の品質とされるA5等級の割合が低く、他県のブランド和牛には頭数、品質とも追いついていないのが実情です。

森議員 本県では、和牛の振興にどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 頭数を拡大するとともに、牛肉の品質向上を図り、県産牛肉のブランド化を目指していくことが重要だと考えています。県では、乳牛への優良な和牛受精卵の移植や、母牛となる有料繁殖和牛の県外からの導入を支援することで、効率的に頭数拡大を進めてまいります。

要望 東京食肉市場での販促活動などにより、県の基幹産業である

農業に戦略的に取り組み、まずは農業産出額全国第

「チーバくんプラザ」

森議員 木更津市は、森田知事が特に力を入れた東京湾アクアラインの800円継続や圏央道の延伸、アクアラインラソンの開催、あるいは大型商業施設の波及効果などにより、今や人、物の循環する「定住」と「交流」のまちへと変貌しています。

県では、観光面でもこの流れを生かし、集客性の高い三井アウトレットパーク内に、観光情報館「チーバくんプラザ」を設置、地元市町村と協力しながら運営しています。

今後、観光情報館「チーバくんプラザ」について、どのような展開を図っていくのか。

商工労働部長 現在、同

草敷潮見線の進捗状況

森議員 都市計画道路草敷潮見線は、請西地区では区画整理事業区域内では整備が進んでいますが、区域外の部では未整備区間が残っており、現在は迂回路を経由せざるを得ない状況です。同路線の進捗状況はどうか。

県土整備部長 同路線は、木更津市の潮見地先から、かずさアカデミアパークまでを東西方向に結ぶ重要な道路です。請西地区で実施している区画整理事業により、区域内の都計道路が

2位を目指していただきたい。

プラザを訪れる年間17万人を超えるお客様に対し、県内各地の観光情報を発信するとともに、イチゴ狩りや潮干狩りなどの周辺観光施設とも連携したスタンプラリーを実施するなど、地域の観光振興にも結び付ける取り組みを進めているところです。

今後は、外国人観光客の増加も踏まえた情報発信の拡大や魅力的な体験イベントの実施などを検討するとともに、圏央道をはじめとした道路ネットワークの整備進展を最大限活用し、より広範囲にわたる県内観光施設と連携した効果的な観光プロモーションを展開してまいります。

概成したことから、県では今年度、区域外の約0.6キロを、県道木更津末吉線のバイパスとして事業着手したところです。

現在、木更津市と協力して設計及び用地測量を実施中であり、できるだけ早い時期に用地取得に着手したいと考えています。今後とも、地元と連携を図りながら、関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

要望 同路線は、一刻も早く事業推進していただくよう要望します。